会員の特典

研修会への参加、学会時のポスター発表、機関誌「学校心理学研究」への投稿ができます。ニューズレター（ＪＳＰＡ letter）が年数回発行されます。大会時に行われる「会務総会」へ参加できます。

入会資格「入るための資格を教えて？」

入会できるのは、幼・小・中・高・特別支援学校・専門学校・短大・大学・塾等の教師、養護教諭、学校の管理職、障害のある子どもへの援助者、スクールカウンセラー、心の教室相談員、国・各自治体や民間機関の相談員、教育行政の担当者、医師、保護者、研究者、大学院生等です。入会資格は次のとおりです。

(1) ４年制大学の卒業者で、心理教育的援助サービスの研究、研修、学習そして実践を行っている者

(2) 前者に準ずる者 ①短期大学、高等専門学校、旧学制による高等学校あるいは専門学校の卒業者で、２年以上心理教育的援助サービスの研究、研修、学習そして実践を行っている者。②高等学校卒業者で、４年以上心理教育的援助サービスの研究、研修、学習そして実践を行っている者。

入会方法「どうやって入会するの？」

本学会ＨＰから「入会申込書」をダウンロードしてください。
必要事項を記入しご捺印のうえ学校心理学会事務局宛にお送りください。
入会申込書には、「推薦者名」を書く箇所があります。会員の推薦者が身近にいない場合には、学校心理学会事務局までご相談ください。
なお、常任理事会での入会審査を通った後に会費を払い、会員番号が通知された時点で会員となります。

会費「いくらかかるの？」

入会金 5,000 円　年会費 7,000 円ですが、大学院生の会費減免、被災者の会費免除、海外在住会員への送料負担の制度もあります。本学会ＨＰ「入会案内」で確認してください。

問い合わせ先

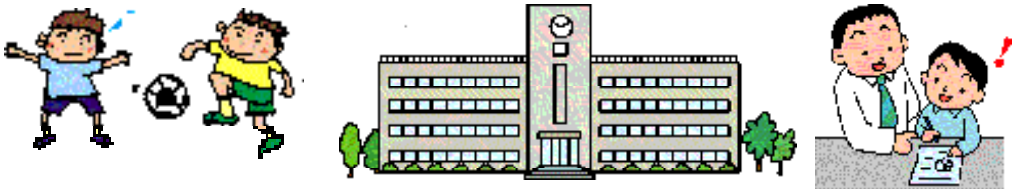
日本学校心理学会　会員窓口
月～金（9：00 ～ 17：00）
〒 162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
TEL　03-6824-9375　FAX　03-5227-8631
E-mail　jspa-office@as.bunken.co.jp
◎まずは、本学会ホームページをご覧下さい　日本学校心理学会

みんなが資源　みんなで支援

日本学校心理学会

-Japanese School Psychology Association-

正会員入会のご案内



日本学校心理学会は、現場の教員やスクールカウンセラー、大学関係者や学生、保護者など、様々な立場の異なる専門家が集まって、子どものことをみんなで考える学会です。

学校心理学とは

学習困難、いじめ、不登校、非行、発達障害などの問題に関して、苦戦している子どももいます。学校心理学は、学習支援、生徒指導・教育相談、特別支援教育、学校保健などの視点から検討されている子どもへの援助活動について、共通の枠組みを作ろうとするものです。

学校心理学は、「一人ひとりの子どもが学校生活を通して出会う問題への対応と解決を援助する心理教育的援助サービスの理論と実践」を支える体系です。学校教育のシステムを、ヒューマン・サービスの視点からとらえ、教師、スクールカウンセラー、保護者らがチームとなり、学校や地域の援助資源を活用して、子どもの成長を支えることを目指しています。子どもへの関わり方、教師や保護者など援助者の相互の支えあい、また学校・地域の援助サービスのシステムについて、基本的な考え方と具体的な方法・ツール（道具）を提供します。

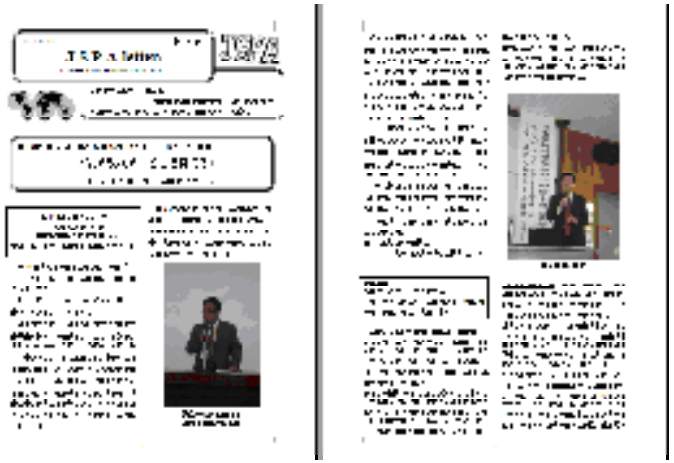
研修会参加

年３回行われている研修会への参加が可能です。専門的に学べます。

最近の研修会のテーマ例

・学習スタイルと指導法について－新しい KABC-II との関連で－
・いじめ問題の現状と課題－かけがえのない自分を育むために－
・「発達障害様症状」を示す子どもたちと家庭への支援

機関誌「学校心理学研究」が年１回届きます。実践に重きをおいたすばらしい研究が掲載されています。
ニューズレター（ＪＳＰＡ letter）が年数回発行されます。最新の本学会の動向を知ることができます。

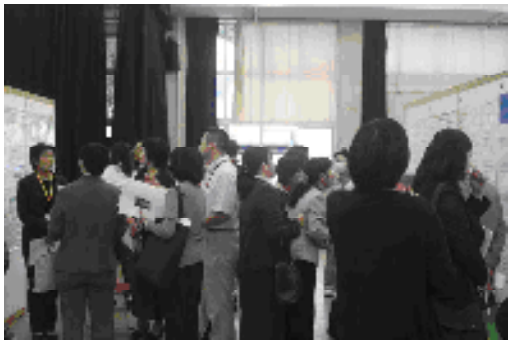


大会参加

年１回の大会への参加が可能です。最先端の現場での研究を学ぶことができます。
大会でのポスター発表が可能です。
現場の小・中・高・大学教員の皆様や、行政職、スクールカウンセラー等の皆様から研究への助言がもらえます。
大会時に行われる懇親会に参加が可能。会食をしながら親睦を深めることができます。

理事長による記念講演の様子

パネルディスカッションの様子



大会でのポスター発表の様子
発表者は研究内容についてポスターを作成・発表し、参加者と討論している様子です。研究のヒントが得られる機会になっているようです。

２０１２年　高知大会　懇親会での高知大学生による、よさこいのパフォーマンス